

1.0 目的

山陽製紙株式会社 殿から支給されたサンプルにジャパンガス株式会社が、エチレン吸着処理を施し、株式会社巴商会 横浜研究所が残留エチレン濃度を測定した。

2.0 試験結果

サンプル中のエチレンの濃度を以下 Table 1 に記した。

Table 1 サンプル中のエチレン濃度分析結果

	梅炭 [μg/g]	GX [μg/g]
エチレンを吸着させていないサンプル	< 1.6	< 1.6
エチレン吸着後 24 時間放置したサンプル	26	< 1.6

3.0 試験要領

2.1 試験対象サンプルは、山陽製紙株式会社 殿から支給された 2 サンプルとする。
エチレンを吸着処理させたサンプルを 24 時間放置後および 72 時間放置後に溶媒抽出にてエチレンを抽出し、抽出液の分析を実施した。

2.2 本分析の分析日及び分析者は下記の通り。

分析日 平成 20 年 5 月 27 日～平成 20 年 5 月 30 日
分析者 株式会社 巴商会 技術本部 横浜研究所

2.3 本分析にて使用する分析機器及び定量下限界を Table 2 に示す。

Table 2 分析機器及び定量下限界

測定対象成分	分析機器	定量下限界
エチレン	GC-FID	1.6 μg / g

2.4 エチレンの抽出は“医療機器の生物学的評価—第 7 部：エチレンオキシド滅菌残留物付属書 K 残留エチレンオキシドの測定方法 K.4.2 物模擬製品使用抽”を参考にした。

抽出溶媒はメタノールを使用し、メタノール中に細断した試料を浸漬させ、37℃にて 24 時間放置した。